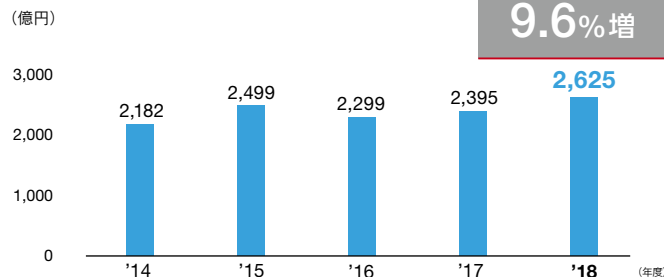


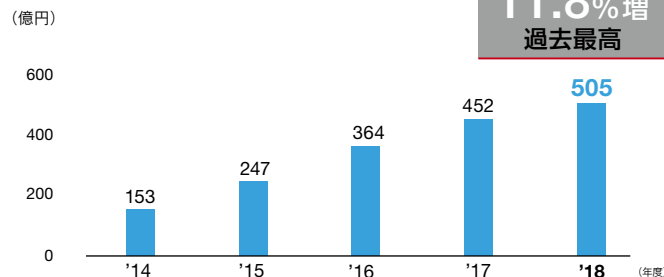
連結決算ハイライト

注：国際会計基準 (IFRS) に準拠して表示しています。

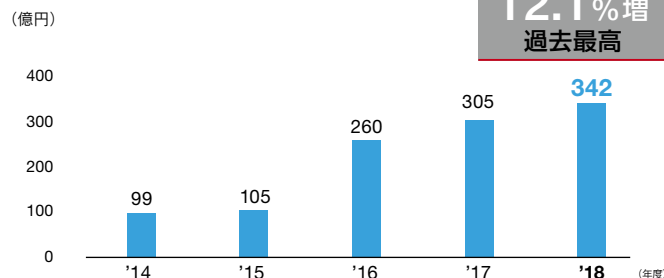
売上高



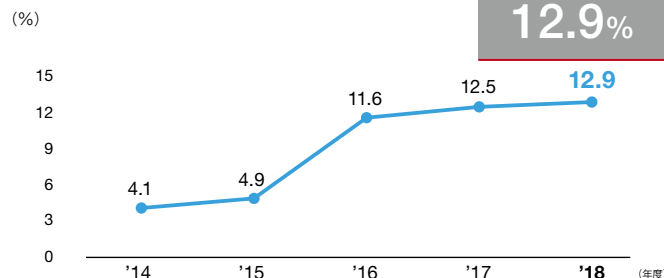
営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益



ROE(株主資本利益率、連結)



当連結会計年度の売上高は2,625億4千9百万円(前年度比9.6%増)、営業利益は過去最高の505億2千2百万円(前年度比11.8%増)、税引前利益は過去最高の503億1千万円(前年度比12.5%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は過去最高の341億9千6百万円(前年度比12.1%増)となりました。

デジタルエンタテインメント事業においては、『ウイニングイレブン2019』(海外名『PRO EVOLUTION SOCCER 2019』)、『遊戯王 デュエルリンクス』、『実況パワフルプロ野球』、『プロ野球スピリッツA(エース)』等のモバイルゲームが国内外で引き続き堅調に推移いたしました。

またeスポーツの取り組みとして、モバイルゲーム『ウイニングイレブン2019』を競技タイトルにした「eJリーグ ウイニングイレブン 2019シーズン」を公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)と共同で開催することを発表いたしました。

アミューズメント事業においては、『麻雀格闘倶楽部 GRAND MASTER』、『ボンバーガール』等のビデオゲームが好調な稼働で推移し

たほか、『GRANDCROSS LEGEND』、『アニマロッタ アニマと雲の大樹』等のメダルゲームも稼働を開始いたしました。また、新規則に対応した『GI優駿倶楽部2』を発売しております。

ゲーミング&システム事業においては、ビデオスロットマシン「Concerto™」シリーズの販売が堅調に推移したほか、新規のアップライト筐体「KX 43™」を市場に投入し注目を集めております。また、カジノマネジメントシステム「SYNKROS®(シンクロス)」では、大型クルーズ船内のカジノ施設をはじめ、大手オペレーターへの導入が引き続き順調に推移いたしました。

スポーツ事業においては、「Beauty Hip」等の自社開発パーソナルプログラムや卓球スクール、トランポリンスクール等の運動スクールの提供施設を拡大するなど、お客様のサポート強化への取り組みを推進しております。スポーツ関連商品では、「コナミスポーツクラブオリジナル」商品の拡充やオンラインショップのデザインの刷新など、サービス向上に努めました。

より詳細な財務情報については、当社ホームページに掲載している決算短信などをご覧ください。

<https://www.konami.com/ir/ja/ir-data>